

# 令和4年度 学校評価 保護者アンケート 考察

板橋第五中学校 校長太田

## 1 生徒の学校生活について

生徒の学校生活については、友達とも仲良く充実した学校生活を送っていると85%以上の保護者が感じている。教員の対応についても、90%弱の保護者が満足している。学校の教育活動全般を通すと、80%弱の保護者が満足している。今後も100%を目指して尽力する。

## 2 本校の教育内容について

本校の教育内容については、70%強の保護者が適切であると感じている。また、思いやりの心情を育んだり、命を大切に作る心情を育んだりする徳育についても、70%強の保護者が満足している。しかし、20%程度の保護者がわからないと回答しており、これはコロナ禍で授業参観等があまりできなかったことや、学校からの発信力の不足が原因と考えられる。コロナの収束に伴い、学校公開の充実、学校からの発信力の強化に努めたい。

## 3 授業について

日々の授業については、60%強の保護者が満足しているが、30%弱の保護者はわからないと回答している。授業を見ることができていないこともあるが、自身の子どもから学校での学習の様子が伝わらないことも大きな原因となっていると考える。ICT機器が様々活用されているので、電子データを活用した見える化ができるようなシステムが構築できないか検討していく。

## 4 生徒の学力について

50%の保護者が、学力が向上してきていると感じているが、50%弱の保護者が、学習習慣が身につけていないと感じている。本校では画一的な内容の成績に含める宿題は廃止し、「毎日ノート」を使用して個別最適化された家庭学習が行えるよう支援している。しかし、実施率は低く全員が主体的な学びを実践しているとは言いがたい現状がある。なんとか打開できるよう、令和5年度は重点課題として取り組む。

## 5 学校行事について

学校行事の活性化や実施の実情、落ち着いている様子については70%以上の保護者が満足している。コロナウイルス感染症の減少にともない、保護者の参加が容易になることが予想されるため、さらに学校を理解していただけるよう尽力する。

## 6 生徒と教員の人間関係について

80%以上の保護者が教員は生徒を理解し、保護者の生徒に関する相談をよく聞いてもらっていると感じている。文科省が実施している全国学力学習状況調査結果では、「困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか」という設問に対して、「当てはまる」と回答した生徒が全国や都の平均は30%程度なのに対して、本校の生徒は60%を超えている。このことから、生徒が教員を信頼していることが読み取れる。これは、生徒一人一人の個性を理解し、個に応じた指導を行っている為と思われる。今後も更に良い人間関係が築けるよう尽力する。

## 7 防災について

学校が生徒に対して実施している、防災教育の実情が保護者に伝わっておらず、わからないと回答してい

る保護者が43%となっている。令和5年度は地域の方と一緒に避難所開設訓練を実施する予定なので、保護者も巻き込んで実施できると良いと考えている。

## 8 情報発信と連携について

学校からの情報発信については、90%の保護者が満足している。保護者や地域との連携に関しても80%弱の保護者が満足している。保護者や地域と連携して生徒の健全育成を進めていくためにも、情報を発信し理解を深めてもらうことは必要不可欠である。今後も更に工夫して、学校の様子が保護者・地域に伝わるよう尽力していく。また、板橋第四小学校とは9年間を見通したカリキュラムを作成し、普段の授業に役立てているが、更に交流を深めるなどして、教育効果を高めていく。

## 9 その他のご意見について

### ① 学校からのプリントが子どもから親へ届かないというお悩み

このお悩みは時々聞く話ですが、本校ではどの学年も毎週金曜日に学年だよりを発行しています。これを使って、毎週金曜日に学校からのプリントを渡すよう、お子さんに声かけをされてはいかがでしょうか。学年だよりの他にプリントはないのかと確認するのも、良い方法だと思います。こうすれば、少なくともその週に配布されたプリントは、金曜日に届くと思います。

### ② 部活動の練習量を増やして欲しいというご要望

板橋区は、区の方針として平日の部活は4日間まで、土日のどちらかは休みにすること、平日の練習時間は2時間まで、土日の練習は3時間まで、週の練習時間の合計は8時間までと決まっています。仮に週末に大会などが入った場合は、土日連続で部活を行う場合もありますが、その場合には平日の休みを多くしたり、大会の時間が3時間を超えたりするようであれば、他の日の練習時間を短く調整する等の処置も必要とされています。このため、練習量については限度内ということになります。

### ③ 連絡網がないので何らかの連絡手段が欲しいというご要望

希望調査をとり、名簿に電話番号を記載しても良いという方にだけ電話番号入りの名簿を配布するといった案も出ています。今後PTAと相談して、良い方法を見つけていきます。

### ④ 運動会の予備日を予定表に入れて欲しいというご要望

来年度の行事予定表から運動会の予備日も記載することとしました。

### ⑤ 教員の生徒指導等について

まず、一定の教員が自分の考えを押しつける傾向が強いというご意見をいただきました。この件については、何か気になることがあったら、まず生徒の思いを聞き、生徒にしっかり考えさせて結論を出させ、生徒が出した結論は尊重し、その後も見守り、再度気になることがあれば声掛けをして再度考えてもらうといった、きめ細やかな指導をすることとしています。しかし、非常にたまに、こういった事を生徒からも耳にすることがありますので、都度当該の教員には指導しております。改めて全体にも指導しましたし、今後も耳に入ったり目に付いたりした場合には、すぐに指導して参ります。

次に、生徒指導について、授業中のおしゃべり等指導の甘さが目にとまったというご意見をいただきました。本校では、教員が一方的に指導することは極力避けていますので、まずは生徒に呼びかけて考えてもらうようにします。もちろん、気になる言動については、教員はスルーせず都度声掛けを行うよう努力いたします。

教員の身なりについて、指導者としてマニキュアや服装など相応しくないのではと思う先生がいるというご意見をいただきました。教員の身なりですが、現在の社会通念として職業人がマニキュアなどのおしゃれをすることは、至って普通となっています。生徒が嫌悪するほどのものであれば、確かに相応しくないという範疇になるかとは思いますが、現代の社会通念に照らし合わせて判断していきたいと思

います。例えば、おしゃれであっても爪を伸ばしている場合は、学校は生徒との接触が多いので危険な場面もあると思いますので、NGという判断ができます。おしゃれだからといって、教職員がピンヒールの履物を上履き代わりにしていたら、生徒の足を踏んでけがをさせてしまう可能性があるためNGという判断ができます。

部活でのトラブルがあったときに、先生があまり助けにならなかったというご意見をいただきました。この件は、教員が生徒にしっかりと考えや思いを伝えられなかったために、生徒が悲しい思いをしてしまったという件だと思います。日頃から教員には、生徒の為にという思いがあって、その思いを込めて生徒に伝えたとしても、その思いがしっかり伝わっていなかったら、それは教員の責任だと言っています。ですからこの件も、教員がしっかり伝えられなかったことを謝罪し、改めて事情を説明して生徒に理解してもらいました。間違えのないよう常に心がけておりますが、たまに間違えたり失敗したりもします。そのときには、すぐに修正できるよう努力しています。

#### ⑥ いじめ問題について

校長がいじめ0と言っていたのは、無いかなと思いましたがというご意見をいただきました。私は教員になってからかれこれ40年近く経ちますが、残念ながら胸をはって本校ではいじめは0ですと言ったことはありません。本校の場合、いじめの出現数は非常に低く、他校と一桁違います。しかし、意図的ではなかったとしても、いじめを受けた側がいじめだと言えばそれはいじめになるので、いじめ対策委員会で話し合うなどして解決に向けて取り組んでいます。また、毎月いじめアンケートを行っていますし、幸い生徒と教員の人間関係も良いので、早期発見ができています。目標はいじめ0です。生徒たちには、社会全体からいじめをなくすことは非常に難しいことだけれども、せめて学校の中だけはいじめが0になるよう頑張ろうと言っています。

#### ⑦ 英語の学習に関するご要望

入試や定期テストでのスピーキングテストやリスニングテストが心配なので、家庭での対策方法を教えて欲しい。また、学校でも対策をして欲しいとのご意見をいただきました。

もちろん、学校では様々な工夫をして、対策となる授業を展開しています。ご家庭での対策として、すぐに思いつくのは、タブレットパソコンです。タブレットパソコンには、生徒用の英語の電子教科書が導入されています。この電子教科書は、本文をネイティブの発音で読み上げてくれます。繰り返し聞くことで耳慣れし、リスニングが強くなることと思います。また、これ以外にも方法はいろいろあると思いますが、個別最適化という観点からすると、個別に英語担当の先生に相談していただくのが最良かと思います。お子さんに相談するよう言っただけだと、助かります。

#### ⑧ その他励ましのご意見

感謝や励ましのご意見もいただきました。本当にありがとうございました。我々のやる気を、かき立てられる思いです。このように思ってください。皆様の期待を裏切らないよう、生徒たちのことを第一優先に考え、生徒たちの健全育成に向けて尽力して参ります。

#### 教職員によく言っていること

- 生徒を一人の人格者として認識し、敬称をつけて呼ぶなど丁寧に対応すること。
- 我々は生活の糧を得るために働いているが、働く内容である仕事は、自分のためではなく生徒の為にすること。（自分のやりやすさのために、生徒に我慢させるなどはしない。）
- 頭ごなしに注意せず、必ず生徒の言い分を聞くこと。
- 主体性や多様性を大切に、安易に答えを提示するのではなく、生徒にしっかり考えさせること。
- 個の特性を理解し、個に応じた指導を心がけること。
- 生徒を信じ、生徒に実践させること。